

市政ニュース

コウノトリ但馬空港フェスティバル 華麗な曲技飛行に歓声とため息

コウノトリ但馬空港フェスティバルを、8月5日・6日の2日間、但馬空港で開催しました。今年も、国内最大規模の航空ショー「スカイ・レジャー・ジャパン」との共同開催により例年以上の規模で実施。両日も気温が約35度にも及ぶ猛暑となりましたが、地元をはじめ京阪神などから約57,000人の航空ファンが訪れました。



▲青空をキャンバスにして行われた曲技飛行

曲技飛行で、小型航空機やヘリコプターが音楽に合わせて、急上昇や急降下、宙返りや横転、背面飛行などの大技を次々に披露すると、会場から大きな歓声が上がっていました。

そのほかにも、紙飛行機教室や熱気球体験搭乗、但馬グルメまつり、ステージイベントなどが行われ、子ども連れの家族などが夏休みの楽しい一日を過ごしました。

梅雨前線に伴う豪雨で警戒態勢

435世帯1、424人に避難勧告

7月18日夜から19日朝にかけて、活発な梅雨前線の影響で、大雨が降り続けました。

市では、市役所本庁内に市災害対策本部を設置するとともに、竹野総合支所を除く各総合支所にも地域災害対策本部を設置し、警戒にあたりまななどに備えて、435世帯1、424人に避難勧告を発令。最終的に床上浸水1世帯、床下浸水9世帯などの建物被害をはじめ、田畑の冠水などに

よる農産物被害、道路冠水に伴う通行規制などが発生しました。

今回、市町合併後、初めてともいえる本格的な水害対応となりましたが、平成16年の台風23号を教訓にして、本庁・各総合支所において防災行政無線などによって、早い段階で避難準備情報や避難勧告を発令し、予想時間雨量や水位情報などもマニュアル化していたため、スムーズに発信できたと考えます。

夏休み子ども防災監養成講座 図上訓練・救急救命法などに挑戦

小学生5・6年生を対象にした「夏休み子ども防災監養成講座」を、7月28日、8月4日・10日の3日間、市消防本部で実施しました。この講座は、自助・共助における防災・減災意識を子どもの時から持つてもらうと、今年度、初めて企画したものです。

市内から52人の子どもたちが参加し、風水害の仕組みや

災害を小さくするための対策などを関係職員から説明を受けたら、救急救命法や非常食の作り方などを学びました。

また、周辺地域に出かけて消火栓や避難所など災害時に役立つ施設を現地調査し、自分たちで地図に書き込む図上訓練にも挑戦。子どもたちは、災害に強いまちづくりについて真剣に話し合っていました。



▲図上訓練に挑戦する子どもたち



▲被害情報などをもとに、今後の対策を検討する市災害対策本部（7月19日午前2時ごろ）

今後、市では、本庁・総合支所間の情報共有のあり方を検討するなど、防災・減災への備えをさらに強化していきます。

外国語ページ・防災マップページを開設 市ホームページがさらに充実

市ホームページに「外国語ページ」と「防災マップページ」が新たに加わりました。

「外国語ページ」は、英語で作成し、「市の紹介」「旅行ガイド」「生活ガイド」の3種類で構成しています。各種観光施設や観光モデルコースなどを紹介し、本市最大の魅力である観光資源を広くPRするとともに、コウノトリ野生復帰事業や植村直己冒険賞など市の特徴的な施策なども

紹介しています。

一方、「防災マップページ」には、6月末に全戸配布した「豊岡市防災マップ」の市内全域図面を掲載しています。拡大や縮小もスムーズに行えるため、細部について見やすいものになっています。

ぜひ、一度アクセスして、充実したホームページをご覧ください。

へホームページアドレスへ

<http://www.city.toyooka.lg.jp>

「夢ひこうき」最優秀作品をサーブ機にペイント 8月31日に但馬空港にお目見え

豊岡青年会議所では、今春、「夢ひこうき」と題して航空機に描くデザインを市内の小中学生から公募していました。その最優秀作品が描かれた航空機が、8月31日からコウノトリ但馬空港に離発着することになりました。

採用されたのは、豊岡小学校6年生の山本あかねさんの作品で、幸せを運ぶコウノトリと幸せをよぶ4つ葉のクロー

バーが描かれています。

ペイントされた機体はサーブ機1機で、但馬・大阪間をはじめ、出雲、松山、福岡、奄美大島など各地の空港に運航され、「豊岡」と「コウノトリ」のPRに役担います。

「この飛行機がいろいろな所に飛んで幸せを運んでほしいです」と山本さん。コウノトリが描かれた航空機が、但馬の空を飛ぶ日が楽しみです。

豊岡市立図書館日高分館がリニューアルオープン ネットワーク整備着々と

昨年8月に策定した「豊岡市図書施設の整備・ネットワーク基本計画」に基づく整備を終え、7月25日に豊岡市立図書館日高分館（日高農村環境改善センター内）がリニューアルオープンしました。

日高分館は、出石・但東分館に続いて市内の図書館（本館・分館）とオンラインで結ばれ、約22万冊の図書の貸出と返却ができるようになります。

また、パソコンや携帯電話からの資料の検索や予約も可能になりました。

べて完成させる予定です。

日高分館の開館時間は、午前10時から午後6時（金曜日は午後7時）まで、毎週火曜日は休館です。皆さん、ぜひ、利用ください。

なお、市では、今後、城崎・竹野分館についても順次整備を進め、平成19年度までに図書施設ネットワークをす

積極的に利用ください。詳しくは、日高子育てセンター（☎42-4610）まで問い合わせください。

日高子育てセンター「子育てひろば」を開設 庁舎の空きスペースを活用

日高総合支所庁舎の空きスペースの活用対策として整備を進めていた日高子育てセンター「子育てひろば」が7月27日にオープンしました。

これまで、同センターは、日高農村環境改善センターを中心に活動を行っていましたが、旧日高町役場当時に議長室・議員室として使用していた庁舎3階に事務所と子育てひろばを整備し、新たに活動を始めることになりました。

子育てひろばは、子育て中の親子の交流の場として、0歳から幼稚園までの子どもとその保護者が自由に利用できる施設です（子どもだけの利用は不可）。開設日時は、月・水・木・金曜日の午前10時から午後4時までです。子育てミニ講話や絵本の読み聞かせ、手づくり玩具グループなどの活動も随時行われます。

ぜひ、子育て中の皆さん、



館内に設置されたパソコンで、簡単に蔵書が検索できる。



オープン初日には、大勢の保護者と子どもたちが参加し、さまざまな催しで完成を祝った。